

# 卒業おめでとう!

## 卒業生へ贈る言葉



"Not the victory but the action;  
Not the goal but the game;  
In the deed the glory"

もう25年も前のことになりますが、私が1年間、アメリカの大学に留学していた時に見つけた、大学のスタジアムの壁にほりこんであった言葉です。もたらされた結果ではなく、その行為の中にこそ栄光があります。一度だけの人生です。勇気を持って、様々なことに取り組んでください。

301担任 滝 敏行

卒業おめでとう。  
この言葉がこんなに広く、深く、深い言葉だと感じたことはありません。「卒業」は、「当たり前」のことではありません。でも、3年間積み重ねた「当たり前」の集大成が「卒業」なのだと感じています。  
同朋の節目を生きたすばらしいみなさん。初の担任として、初の卒業生のみなさんへ。これからも健やかに、康らかに生きてください。  
偶然出会ったこの「ご縁」に、感謝。

302担任 安藤 瑞基

「ウザい、キモいは誉め言葉」  
これを胸に3年間生活指導をしてきましたが、内心寂しかったし辛かった。しかしそれは君達が社会で愛される人間になって欲しかったから。ただそれだけです。最後に僕が感動した言葉を贈ります。「できることはやります。できないこともできるように努力します。でもできなかつたら助けて下さい。」君達の今後の活躍を祈っています。  
卒業おめでとう!!

303担任 丸山 栄治

「果たして、完璧な大人っているのかなって、先生思います。みんなにとって30歳って言ったら立派な大人だよな。でもね、12年後、30歳になった時、きつこう思う。「うーわ、まだ全然子供だよ。先生こんだったのか」って。」

「ゆとりですがなにか」より

年齢を重ねても、大人の気持ちが分かる子供でいてください。

304担任 榎木 振一郎

自分の声を聞いて、  
自分で決めて、  
自分を大切にね。

305担任 小川 幸子

卒業おめでとう。  
小学校の時の通知表を思い出してみてください。これからの人生で、左側に書かれている「5,4,3,2,1」も大切ですが、それ以上に右側に書かれている項目に○がついていることが大切です。どんな項目があったか覚えているでしょうか? よく学び、よく遊んで、素敵な人になってください。そんな素敵な皆さんにまた会えることを楽しみにしています。

307担任 大泊 和将

還暦間近になった今でも、18歳だった頃の自分を覚えています。受験会場に向かいながら、吹き付けてくる冷たい風をむしろ心地よく感じた時のことを。小さな靴一つで住み慣れた家を後にした時のことを。あの時から、本当の自分の人生が始まったような気がします。  
みなさんの人生も、ここからが本番。幸多かれと願っています。

308担任 三井 陽子

高校1年生のときの生徒手帳、まだありますか? 自分の顔写真をみるととて幼く見えませんか?  
この3年間、君たちは知らず知らずのうちに本当に成長しました。自分を誇りに思っている自信を持ってください。「できない」と思うとそこでストップしてしまうものです。「できる」「まだやれる」という言葉で自分自身を鼓舞してこれからの人生も前向きに進んでいってください。

309担任 内田 義博

3年生のみなさん、卒業おめでとう。  
希望を持ち入学し学校生活を通じて目標を達成することができましたか?  
もし達成ができなかったのであれば問題があり、どのように解決すべきか自己解決能力を身に付けて下さい。そして多様化する未来に「一隅を照らす」人物になって下さい。君たちの未来は希望に満ち溢れています。

310担任 伊吹 嗣平

大きな目標を掲げずに担任をやってきましたが、目の前の小さなことを大切に続けてきたためか、私にはとても心地よいクラスになりました。  
「なんだか楽しかったなあ」と、みなさんにも心地よさが残っていたら幸いです。  
若さは可能性の塊です。みなさんのさらなる成長をこれからも応援しています。

311担任 伊藤 孝晴

たった今からポジティブ花子  
絶対この道 楽しんでやる  
周りを笑顔で見渡せば 優しくたくさん咲いていた  
ヒュールル ルルルル トゥルトゥー ルー  
心のため息サヨウナラ 今幸せラインを通過した  
ここから始まり いつでも始まり  
つくく氏作詞の今年のNコン合唱曲「ポジティブ太郎〜いつでも始まり〜」からの引用です。何事にも恐れることなく、挑戦し続けてください。辛い時は「ポジティブ太郎や花子」に登場してもらいましょう。

312担任 鈴木 乃維

# 同朋 和敬

## 修学旅行と 同朋オープン・フォーラム報告

2  
Vol.213  
学校通信

Doho High School Community Press

同朋和敬

2

学校通信

Doho High School Community Press  
Vol.213 16 FEB 2019

同朋高等学校 学校通信編集委員会 宇佐美・平岩・平野・杉浦

名古屋市中村区稲葉地町7の1 TEL:052-411-1159



## Schedule [行事予定]

2月	18日 月	見聞の日
	20日 水	2年生音楽科午前授業
	21日 木	2年生音楽科学年未考査 [~27日]
	28日 木	午前授業、2年生音楽科代休
3月	1日 金	学年未考査 [~7日]
	8日 金	2年生家庭学習、1年生自主活動日
	13日 水	1年生家庭学習、2年生自主活動日
	14日 木	健康診断 (1,2年生)
	15日 金	進級判定発表
	18日 月	家庭学習
19日 火	修了式	

## 平成30年度「愛知県私立学校経常費補助金」の交付金額が決定しました

保護者のみなさまには、ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。また、助成金署名や地域ごとに開催された「地域別県民文化大祭典~オータムフェスティバル」など、私学助成拡充の運動にご尽力下さいまして厚くお礼申し上げます。  
平成30年度の同朋高等学校への愛知県私立学校経常費補助金交付額が下表のように決定いたしましたので報告いたします。みなさまのご協力により、例年並みの補助額となりました。このことに感謝申し上げるとともに、教育条件の一層の充実と財政の安定化に引き続き努力してまいります。今後とも、ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

### ◆同朋高等学校「愛知県私立学校経常費補助金」交付決定額◆

年度	一般補助金	特別補助金	事務費	総額	総額	1人当たり補助額
平成30年度	437,692千円	14,106千円	1,239千円	451,271千円	1,242人	363,342円
平成29年度	464,339千円	16,793千円	1,305千円	486,237千円	1,294人	375,763円
平成28年度	444,248千円	21,513千円	947千円	465,176千円	1,243人	374,237円

今年、やなせたかしさんの生誕100年の年にあたります。ご存知アンパンマンの原作者です。初期のアンパンマンは飢えた子どもにアンパンを配って回る小太りの男の設定でした。ほっぺをかじらせて人を救う正義のヒーローがアニメとして初放映されたのは、絵本が出版された15年後のやなせさんが69歳の時でした。そして、いつも物語の原点に、自身の戦争での飢餓体験や正義が一変した体験があることを私達は忘れてはならないと思います。

同朋高等学校長 梅田 功

# 沖縄 修学旅行



## 修学旅行を振り返って

2年生普通科・商業科の生徒が3団に分かれて、「沖縄修学旅行」に行ってきた。12月の沖縄にしてはずっと天気良く、亜熱帯の沖縄ならではのプログラムを楽しむことが出来ました。日ごろの学校生活を離れ、豊かな自然と文化を持つ沖縄でのさまざまな体験は、生徒にとって貴重なものとなりました。

初日は平和学習。女子生徒コース、普天間基地コース、子供の戦争体験コース、住民の戦争体験コースの4つのコースに分かれて、沖縄平和ネットワークの方にガイドをして頂きながらテーマを掘り下げる学習を行いました。心に残った場所や記念碑を写真撮影するなど「クラスメイトに何を伝えたいか」を意識させることで、より主体的に学ぶことができたのではないかと思います。夜のHRでは、コースで学んできたことをiPadに共有した写真をもとに3~4人ずつのグループで交流し、平和メッセージカードを作成し、クラスごとに平和のモニュメントをつくりました。いずれのコースも平和委員を中心にガマ(壕)で平和記念式典を行いました。事前に学んできたこと、実際に目の前にあることをリンクさせ、学びを深めていました。2日目のコース別研修は、シュノーケリングやカヌーなどの自然体験や、サトウキビ収穫

&黒糖づくり、シーサーなど文化体験するツアーに参加し、それぞれのコースで楽しむ生徒の姿を見ることが出来ました。

2日目の夕方から伊江島に渡りホームステイ、伊江島の子として一泊し、おじい、おばあ、おとう、おかあの優しさに触れました。沖縄料理をふるまってもらったり、一緒にサーターアンダーギーを作ったり、島内を巡ったりと、とても充実した時間となりました。沖縄には「イチャリバチョーデー(一度会えば兄弟)」という言葉がありますが、一泊したらまさに家族です。島を出るときは、「行ってらっしゃい」「行ってきます」と涙みだでお別れしました。最終日は嘉手納基地、首里城、国際通りを回る行程で、今の沖縄を感じることが出来ました。

行事の成功には準備が欠かせません。各教科での事前学習や、学習委員・平和委員・クラ連の事前準備など、生徒も教員も十分な準備をして臨んだからこそ、充実した修学旅行にすることが出来ました。

修学旅行を実施するうえで、多くの方にご協力いただき、生徒の心に残るものを作ることが出来ました。お世話になった皆さま、ありがとうございました。

2年生学年主任 日比 伸子



## 平和学習について

修学旅行に向けた平和学習として、社会科では琉球の歴史や沖縄戦、基地問題を学び、国語科では集団自決に追い込まれた人々の心情を追体験するルポルタージュを読み、英語でも、死を覚悟しつつ白旗を掲げて投降した『白旗の少女』を読みました。

学習していく中で、やりきれない思いになる時もあります。多くの生徒にとって平和とは何か、平和な世界のために何が必要なのか、自分なりに考える機会になったのではないかと思います。また、沖縄戦の体験者の証言を元に制作された映画『月桃の花』を鑑賞しました。実際の沖縄戦の記録映像も織り交ぜられており、想像していた以上に戦争は悲惨なものだと実感することができました。同時に、修学旅行平和委員会では、修学旅行で訪れる戦跡や基地を紹介するニュースを作成し、各コースでガマの中で朗読する『平和宣言文』の作成を行いました。生徒全員から集めた作文を元に、生徒たちが自分でまとめた『平和宣言文』は、素朴な表現の中にも、この間の学習で感じた『平和』への願いが込められていました。

平和学習担当 大島 江介

## 女子生徒隊 平和宣言文

もし、今戦争が起きたら、私たちは戦場に何を持っていくだろうか。携帯電話、好きな漫画、音楽…一体何を持っていくだろうか。

73年前、16歳の少女たちが戦場へ持っていったのは教科書だったと知った。今を生きる私たちに、戦場に教科書を持っていくという選択肢はあるだろうか。

私たちの中にも、さまざまな夢を持っている人がいると思う。彼女たちも「先生になりたい」という夢を持っていた。しかし、彼女たちの夢の多くが、叶えられることはなかった。「もう動けない。殺してほしい。」と何度も懇願するほど追い詰められ、亡くなっていった彼女たちに何の罪があったのだろうか。私たちは73年前を知らない。

罪のない人々を巻き込み、数えきれない程の尊い命や夢を奪った。そうしてまで得られたものはあったのだろうか。戦争。もしも、戦い、争い、そうして得られたものがあっても、そんなものに微塵の価値もないと思う。

73年前、戦時中の人々が考えていた「平和」とは何だったのか。「友達と笑って過ごせること」「人の優しさを感じられること」あるいは、「生き延びる」という、私たちが普段考えようもないことだったのかもしれない。

今、私たちが暗いガマの中でなく、青い空を見上げられること、ボロボロの衣服でなく、キレイな衣服を着られること、飢えに苦しむことなく毎日食事をとることができること。私たちの日常は、ものすごく幸福なものではないだろうか。

幸福だが、当たり前ではない。幸せを未だに得られていない人々がいるのも事実だ。「平和」という言葉をこういうものと断言するのは難しい。しかし、日常のささいな幸せをすべての人が得られる社会はきっと、「平和」なのだと思う。日常に潜んでいる目を覆いたくなるような事実に対して、無関心ではなく、しっかりと、目を向けて、考えて、10年、20年、これから先の平和を築いていくことを誓います。

女子生徒コース参加メンバー一同





# 修学旅行感想文

## 201 犬飼 玲菜 (一宮市立尾西第三中学校出身)

1日目の夜は、ホームルームを行いました。ホームルームではiPadを使ってそれぞれのコースで体験したことや感じたことを共有しました。クラスみんなが平和学習を通して感じたことや印象に残っていることを知ること、さらに考えが深まったと思います。みんなの話聞く中で、新しい発見やさらに知りたいことがたくさん見つかりました。さまざまな面から沖縄の戦争と平和、基地について知ることができてとても良い経験になりました。



## 203 三谷 玲雄 (大治町立大治中学校出身)

僕は、1日目の平和学習でのひめゆり学徒隊コースの平和宣言文を作りました。平和宣言文作成のために、他の生徒たちより多くのひめゆり学徒隊に起こった悲劇を学び、彼女たちの思いに触れました。実際に現地のガマに行き、その狭さや息苦しい空気を感じ、今まで調べて知識として持っていた情報が、あたかも自分が体験したかのような身近なものとして感じられました。ガマから明るい日差しのもとに出ると、とても心地よく、今、自分たちが幸せに暮らしていることを忘れずに生きていこうと思いました。

## 206 内藤 千奈 (名古屋市立振甫中学校出身)

私は4日間のうち、伊江島民泊が一番の思い出になったと思います。最初は初対面の方の家に泊まることに抵抗があったけれど、おとう、おかあが優しく迎えてくれて、すぐに心を開くことができました。夜は三線を教えてくれたり、伊江島の星がきれいに見える場所に連れて行ってもらいました。そして、3日目の朝には私たちの希望を聞きながら、たくさんのお土産を連れて行ってくださいました。私たちを楽しませようとしてくれるのが伝わってきて、伊江島の人々の温かさを感じることができました。

### 修学旅行日程

貸切バス 航空機 徒歩 船

中部国際空港	那覇空港	コース別平和学習	ホテル	
<b>1日目</b>	コース1 空港＝塚(識名塚)＝八重瀬岳＝梯梧の塔……ひめゆりの塔……資料館＝魂魄の塔……米須海岸＝ホテル	コース2 空港＝嘉数高台＝佐真下公園＝沖縄国際大学ヘリ墜落現場＝塚(県庁塚)＝ホテル	コース3 空港＝小桜の塔……対馬丸記念館＝塚(轟)＝平和記念公園(平和の礎・平和祈念資料館)＝ホテル	コース4 空港＝魂魄の塔・米須海岸＝塚(轟)＝平和記念公園(平和の礎・平和祈念資料館)＝百名収容所跡＝ホテル
<b>2日目</b>	ホテル＝テーマ別バス別研修＝本部港	伊江港	ホテル	
<b>3日目</b>	ホテル＝伊江島内研修(民家毎 体験学習)……伊江港	本部港	ホテル	
<b>4日目</b>	ホテル＝道の駅「かでな」＝首里城＝県庁前……国際通り散策……県庁前＝那覇空港	中部国際空港		

## 高校創立60周年記念行事

# 同朋オープン・フォーラム2018

2018年12月8日(土)に実施した「同朋高校オープン・フォーラム2018」。今回は、本校創立60周年記念行事ということもあり、参加者皆で一体感を感じ取られるよう、分科会形式ではなく1つの会場で意見交流会の形式をとりました。とはいえ、討論に飽きないよう途中で教員による報告や、生徒による報告はさみながら、ときには司会の合図で16のグループセッションもおりませ、生徒・保護者・教員・助言者が一緒になって意見の交流をしました。今回の助言者は、教育大学を中心に6人の大学研究者の方をお願いしました。

参加者 生徒74名、保護者73名、教員54名、大学研究者7名、大学生18名 合計226名

### 保護者・生徒・教員・市民の四者による意見交流会

フォーラム前半は、夏に行われた地域懇談会で出された保護者からの要望・質問に対し、学校から回答しました。その後のミニ講演は、石井拓児先生(名古屋大学大学院・教育学)の「これからの同朋の教育に期待するもの～過去から未来へ～」と題し、お話しいただきました。この中で石井先生は、「青年期に豊かな体験を仲間と共にすることが一番大切」「地域での活動も大切」など、具体的な例をもちだしながら説明いただきました。

後半は、意見交流会を実施しました。最初の報告は、楳木先生(理科)と鶴岡先生(社会科)の授業実践報告「なぜ理科と社会科で生命理論の授業を行ったか」から始まりました。どう思うか、授業づくりをしているか、「出生前診断」については、理科だけでなく社会科の観点も取り入れながら、命について考える授業をどうしていったかの実践報告でした。受講した生徒からは「知識を得られるうえに、生徒どうし考える時間を与えてくれるのでコミュニケーション能力も鍛えられる」「一つの事象についても多面的に捉えることが大切だと感じる」「生徒自身の授業の取り組み方や先生の意識が一致していないと良い授業はできないと思う」とコメントがありました。

生徒からは、体育大会応援部門で優勝した307クラス、文化祭で同朋アカデミー賞を受賞した309クラスと303クラスの代表生徒が、失敗と成功の裏話などを紹介してくれました。

さらに、生徒による60周年企画「Let's 60!」からは、生活困窮者のための古着集めボランティアを大学生といっしょに取り組んでいる話などに加え、3年間の文化祭本部企画に関わった生徒からは、この経験から「知らなかったことを知った喜び」と「企画をつくることの難しさ、形になっていく達成感」を学んだと報告してくれました。いずれの生徒報告も「先生も支えてくれ、寄り添ってくれた」



と語られたのが特徴でした。

まとめとして、助言者のみなさんからコメントをいただきました。名古屋造形大学の大橋先生からは「生徒が自分の言葉で発表していることが素晴らしいが同時に多くの生徒が与えられているチャンスを本当に活かされているのかということもきちんと考える必要がある」とありました。愛知学院大学の榊原先生からは「同朋高校の行事から得られる学びがまさに『創造し想像する』である。他者を通じなければ、自分を知ることができない、そういう立場に立ったとき、学校は大きな役割を果たすのでないか?と提起いただきました。それらをうけて、長瀬生徒会長からは「まだまだ在校生の中でも、こうしたすばらしい活動を知らない人がいるという課題が見えた。今後は人と人の繋がりを大切に活動していきたい」と決意表明がありました。

参加者それぞれが、学ぶべきものを多く収穫できた今年度のフォーラムでした。

実行委員会事務局 宮城 道良



### 2018年度オープン・フォーラムの助言者

石井 拓児	名古屋大学大学院教育発達科学研究科准教授 / 教育学
別所 興一	愛知大学経営学部元教授 / 歴史学
榊原 博美	愛知学院大学総合政策学部准教授 / 教育学
福田 琢	同朋大学文学部教授 / 仏教学
岩瀬 真寿美	同朋大学社会福祉学部准教授 / 教育学
大橋 基博	名古屋造形大学造形学部教授 / 教育学
川井 敏生	名古屋音楽大学音楽学部ビジネスコース

## プロフェッショナルD～職業と進路を考える～

社会人の方々をお招きし、14の分科会別に講演をいただきました。「高校時代にどんな経験が大切か」「何を働きたいとしているか」など、先輩からのメッセージを生徒達は真剣に書き留めていました。

講演会后、「幸せな働き方」をテーマに論述課題にも取り組みました。将来を切り拓く能力の形成をこれからの学校生活に期待します。 1年生学年主任 和田 英之



## 音楽科修学旅行

3月1日(金)から8日(金)の予定で、2年生音楽科の生徒がオーストリアへ修学旅行に出かけます。モーツァルトやベートーヴェンなど多くの音楽家たちのゆかりの地であるザルツブルクやウィーンを訪れ、音楽の本場の空気に触れてきます。

また平和学習の一環としてナチスのマウトハウゼン強制収容所も訪れます。

### 修学旅行行程

- 1日目 中部国際空港→ヘルシンキ空港→ミュンヘン空港→ホテル
- 2日目 ホテル→ザルツブルク音楽研修(ミラベル宮殿、モーツァルト生家など)→ザルツブルク散策→ホテル
- 3日目 ホテル→モントゼイ教会→マウトハウゼン強制収容所→ホテル
- 4日目 ホテル→シェーンブルン宮殿→ケルトナー通り散策→楽友協会→オペレッタ「こもり」鑑賞→ホテル
- 5日目 ホテル→市立公園→シュテファン大聖堂後ケルトナー通り散策→ベートーヴェン遺書の家→シューベルト生家→ホテル
- 6日目 ホテル→アウガルテン宮殿→ケルトナー通り散策→国立オペラ座内部見学→セッション見学→ホテル
- 7日目 ホテル→ウィーン空港→ヘルシンキ空港～機内泊
- 8日目 →中部国際空港

## 第50回 卒業演奏会

去る1月10日(木)、伏見の電気文化会館ザ・コンサートホールを会場に、「音楽科第50回卒業演奏会」を行いました。

この演奏会には毎年、オーディションにより選ばれた音楽科の3年生が出演し、今年は電子オルガン・マリンバ・声楽・ミュージカル・ヴァイオリン・フルート・ホルンの各専攻生徒が、それぞれ高校生活の締めくくりとなるステージで熱演を繰り広げました。

また、昨年度より加わった、1・2年生も含めた音楽科生徒全員の合唱とオーケストラの演奏も行われ、聴きごたえのあるコンサートになりました。何かと忙しい時期に多くの方にご来場いただき、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

音楽科主任 錦木 勇樹



## ライフプランニング学習会

「賢い社会人」「賢い消費者」の育成が求められる昨今、商業科は最前線で活躍する社会人から学ぶ機会を多く取り入れた実践教育に取り組んでいます。

今回は消費者教育の一環として、商業科3年生を対象に生命保険会社との共同授業「ライフプランニング学習会」を実施しました。理想的な人生設計のためには、たくさんのお金が必要です。しかし、お金だけに意識が傾くと、堅実な夢の実現しかたくなります。そこで、保険、経済、金融、税務などに関する高度な知識を有した「お金のプロフェッショナル」ともいえるファイナンシャルプランナーのアドバイスをいただきながら、適切な人生設計に挑戦しました。壮大な夢を実現させながらも、貯蓄や投資を活用し、お金を殖やすシミュレーションができ、生徒感想からも常に最新情報の入手の必要性を感じたなど、ライフプランニングの重要性を実感してもらう学習会となりました。

今後も、本校の教育活動にご理解いただける企業と提携しながら、賢い社会人・賢い消費者を育成する教育に力を入れていきます。

商業科主任 伊吹 酬平



## 報恩講 “共なるいのち”を生きる

11月28日は、浄土真宗の宗祖である親鸞聖人の祥月命日です。親鸞聖人の教えを建学の精神とする本校では、11月27日に同朋大学・成徳館ホールに1年生全生徒が集い、報恩講を執り行いました。

報恩講とは、親鸞聖人をはじめ、今を生きる私たちまでお念仏の教えを伝えてくださった先輩方に思いをいたし、その恩徳に感謝し報いる御仏事です。同時にそれは親鸞聖人の言葉に出会い、自らの生活を振り返るお勤めでもあります。

今年度の報恩講は、各学科の代表生徒による献花のほか、音楽科生徒のリードで「三帰依(パーリ文)」を唱和し、名古屋大谷高校の一柳智史先生に法話をいただきました。一柳先生ご自身の経験をお話いただき、「共なるいのち」について考えを深めることができました。

報恩講を通してお念仏の教えに出会い、自分を見つめ直し、「同朋」という他者と認め合い、共に生きていけるご縁となれば幸いです。

宗教主任 柏原 良教



## Club&Award News 生徒の活躍(2学期～12月8日まで)

### ◆音楽科

第72回全日本学生音楽コンクール 声楽部門 高校の部  
名古屋本選 第3位 白金 宙河(312) 半田市立半田中学校出身

第28回クラシック音楽コンクール 打楽器部門  
全国大会出場 愛場 乃愛(212) 名古屋市立北陵中学校出身

### ■柔道部

第41回尾張名古屋知多新人柔道体重別選手権大会  
男子73kg級 第3位 所 優豪(211) 名古屋市立天神中学校出身  
女子63kg級 第2位 村松 琴音(110) 岡崎市立矢作北中学校出身

### ■乗馬部

第43回前田記念馬術競技会  
LL級障害70 第1位 黒田 英巨(201) 名古屋市立荻瀬中学校出身  
LL級障害70 第4位 岡田 笑子(204) 名古屋市立守山東中学校出身  
LL級障害30 第1位 岡本 めぐみ(204) 大治町立大治中学校出身  
LL級障害30 第3位 古橋 信平(104) 名古屋市立日比津中学校出身  
LL級障害30 第5位 津本 柁(110) 春日井市立高森台中学校出身  
LL級障害30 第6位 梅村 凌矢(101) 名古屋市立一柳中学校出身  
LL級障害80 第2位 吉岡 悠馬(202) 名古屋市立宝神中学校出身  
LL級障害80 第6位 石井 亜海(201) 桑名市立光風中学校出身  
LL級障害60 第4位 黒田 英巨(201) 名古屋市立荻瀬中学校出身  
LL級障害60 第5位 岡田 笑子(204) 名古屋市立守山東中学校出身  
LL級障害40 第3位 津本 柁(110) 春日井市立高森台中学校出身  
LL級障害40 第4位 新井 大義(104) 名古屋市立一柳中学校出身  
LL級障害40 第6位 岡田 笑子(204) 名古屋市立守山東中学校出身

### 平成30年度愛知県高等学校新人体育大会 柔道競技 名南支部予選会

団体女子 第3位  
団体男子 第4位

### ■男子ソフトボール部

平成30年度愛知県高等学校新人体育大会  
男子ソフトボール競技 第3位

### ■男子バスケットボール部

第71回高等学校バスケットボール選手権大会  
愛知県Bブロック 優勝  
(ALL AICHI 1次トーナメント)

第71回高等学校バスケットボール選手権大会  
2次トーナメント ベスト16

### ■女子バスケットボール部

第71回高等学校バスケットボール選手権大会  
2次トーナメント ベスト16

### 平成30年度愛知県高等学校馬術王座決定戦

馬場馬術競技 第3位 石井 亜海(201) 桑名市立光風中学校出身  
団体総合 第3位

### 平成30年度愛知県高等学校新人体育大会 馬術競技

馬場馬術競技 第2位 黒田 英巨(201) 名古屋市立荻瀬中学校出身  
団体総合 第2位

### 平成30年度東海高等学校新人体育大会 馬術競技

馬場馬術競技 第3位 黒田 英巨(201) 名古屋市立荻瀬中学校出身  
団体総合 第3位